

俳人協会宮城県支部俳句研修会成績表（選者 守屋明俊 先生）

一 選句

特選 三句

- 1 2 絵心経読み解くことを盆休み 大沼 せつ子
- 5 3 青葦の切つ先さやに日を止む 堀之内 久子
- 1 4 2 秋立つや笠郎女真野の原 幾世橋 廣

秀逸 五句

- 1 4 宇野千代の汗のハンカチすぐ乾く 熊沢 れい子
- 3 0 礼拝堂灯し夜学の始業ベル 柏原 眠雨
- 5 7 杉山の襷にけぶれる懸り藤 八巻 義枝
- 7 9 牛馬になりて際やか我がなすび 佐野 享保
- 9 4 天窓の光秋めき土を練る 木村 裕一

入選 一〇句

- 3 震災を越え来し雄勝硯洗ふ 富田 洋子
- 2 1 太白山に白き雲湧く秋始め 屋代 ひろ子
- 4 0 松島の島々けぶる夕立かな 本田 幸逸
- 5 8 鳴き砂を鳴かす児の足雲の峰 伊藤 一男
- 6 5 父焚きし痕に門火を焚きにけり 鈴木 勝也
- 7 4 渡舟呼ぶ鈴の涼しき浦戸島 富田 洋子
- 9 2 海の風金魚ねぶたの尾を揺らす 屋代 ひろ子
- 1 0 2 初嵐賽の河原の石崩す 篠沢 亜月
- 1 1 1 鴨涼し雄島の磯馴れ松の下 本田 幸逸
- 1 2 8 冷房を肌へにエジプト木乃伊展 八巻 義枝